

コダール[®]S水和剤

■種類名：プロメトリン・S-メトラクロール水和剤
 ■有効成分：プロメトリン----- 26.6%
 S-メトラクロール----- 24.8%
 ■PRTR法指定物質：S-メトラクロール [第1種] ----- 24.8%

■登録番号：第23414号(日本化薬登録)
 ■毒性：普通物(毒劇物に該当しないものを指すという通称)
 ■登録初年：2014.01.15
 ■性状：類白色水和性粉末 45μm以下
 ■有効年限：4年
 ■包装：500g×20袋
 1kg×10袋(北海道のみ)

【特長】

- 幅広い畑地一年生雑草(イネ科、カヤツリグサ科、広葉雑草)に有効。
- 難防除雑草である帰化アサガオ類の発芽・生育を抑える効果がある。

【適用内容】(2016年10月19日現在)

作物名	適用雑草名	使用時期	適用土壌	使用量		本剤の使用回数	使用方法	適用地域	プロメトリンを含む農薬の総使用回数	メトラクロール及びS-メトラクロールを含む農薬の総使用回数
				薬量	希釈水量					
たまねぎ	一年生雑草	定植活着 15日後まで (雑草発生前) または 中耕除草後、 但し、収穫 90日前まで (雑草発生前)	全土壌 (砂土を 除く)	150~ 225g /10a	70~ 100ℓ /10a	1回	全面 土壌 散布	北海道	1回	1回
だいず えだまめ いんげんまめ さやいんげん べにばないんげん		225~ 300g /10a								
にんじん		は種後 出芽前 (雑草 発生前)		150g /10a	100ℓ /10a			2回以内		
やまのいも		植付後 萌芽前 (雑草発生前)		225~ 300g /10a					1回	
とうもろこし 飼料用とうもろこし	は種後 出芽前 (雑草 発生前)	70~ 100ℓ /10a	1回		全域	1回				

【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 薬害を生ずるおそれがあるので、碎土、整地および覆土はていねいに行うこと。
- 土壌が極端に乾燥している場合には除草効果が劣ることがあるので、所定量の範囲内で散布水量を多めにして、ていねいに散布すること。
- 有機物の多い土壌や粘土質の土壌では所定範囲内で多めの薬量を散布すること。
- 極端な過湿土壌および砂質土壌で使用する場合には、生育を抑えることがあるので、少なめの薬量を散布すること。
- 砂土では使用しないこと。
- さやいんげん及びいんげんまめに使用する場合、次の条件下では出芽抑制及び生育抑制等の薬害を生じるおそれがあるため、
 - ◆ 極端な過湿土壌及び砂質土壌では使用をさけること。

- ◆ 散布直後に降雨が予想される場合には使用をさけること。
- ◆ 出芽直前の使用はさけること。
- にんじんに使用する場合は葉害のおそれがあるので、トンネル栽培では使用をさけること。
- 付近に作物がある場合は、散布液が飛散しないように注意して散布すること。
- 水稻に葉害を生じるおそれがあるため、当年または翌年の水稻栽培をさけること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にかからないように注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法等を誤らないように注意し、特に初めて使用する場合は、病害虫防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

【安全使用上の注意】

- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。
眼に入った場合には直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 本剤は皮膚に対して弱い刺激性があるので皮膚に付着しないよう注意すること。
付着した場合には直ちに石けんでよく洗い落とすこと。
- ❖ 散布の際は農薬用マスク、手袋、長ズボン・長袖の作業衣などを着用すること。
作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、洗眼・うがいをするとともに衣服を交換すること。
- ❖ 作業時に着用していた衣服等は、他のものとは分けて洗濯すること。
- ❖ かぶれやすい体質の人は取扱いに十分注意すること。
- ❖ 魚毒性等：水産動植物(藻類)に影響を及ぼす恐れがあるので、河川、養殖池等に飛散、流入しないよう注意して使用すること。
使用残りの薬液が生じないように調製を行い、使いきること。
散布器具及び容器の洗浄水は、河川等に流さないこと。また、空容器、空袋等は水産動植物に影響を与えないよう適切に処理すること。
- ❖ 保管：直射日光をさけ、なるべく低温で乾燥した場所に密封して保管すること。